



# NISSHA

## 2019年12月期 第3四半期 決算説明テレフォン・ カンファレンス

2019年11月8日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

## 2019年12月期 第3四半期（7-9月）の実績

- デバイスの製品需要は拡大も、想定を下回る（平均レート：¥106/\$）
  - 売上高 523億円、EBITDA 38億円、営業利益 14億円、経常利益 13億円、親会社株主に帰属する四半期純利益 54億円
  - デバイス：スマートフォン向けの製品需要が想定を下回る
  - 産業資材：中国向け製品需要の減速などで国内工場の稼働が低下、一部の海外成形工場の収益性の改善に課題
  - メディカルテクノロジー：製品需要は概ね堅調に推移
  - 遊休固定資産の譲渡により特別利益を計上

## 2019年12月期 通期の見通し

- 通期業績予想を下方修正（為替想定レート：¥108/\$）
  - 売上高 1,730億円、EBITDA 60億円、営業利益 ▲38億円、経常利益 ▲50億円、親会社株主に帰属する当期純利益 ▲21億円
  - デバイス：スマートフォン向けの製品需要が想定を下回る見通し
  - 産業資材：Q3の業績結果、Q4の需要動向を見直し、下方修正

## トピックス

- 事業ポートフォリオの組み換え戦略、非IT向けの成長戦略が進展
  - 医療機器：アイルランドの医療機器メーカーAdvant Medicalを買収
  - DDS（医薬品の新剤形）：日本のゾンネボード製薬を買収
  - サステナブルパッケージ資材：ドイツの蒸着紙メーカーEurofoil Paper Coatingを買収

## 2019/12期 Q3累計（9カ月）の実績

（百万円）

	2018年 1-9月 実績	2019/12期 1-9月 実績	前年同期比 (2018年 1-9月比)
売上高	140,860	125,409	▲11.0%
産業資材	34,518	35,119	+1.7%
デバイス	80,041	66,723	▲16.6%
メディカルテクノロジー	16,015	18,207	+13.7%
情報コミュニケーション	9,961	5,063	* ▲49.2%
その他	322	296	▲8.1%
EBITDA	8,966	2,757	▲69.2%
EBITDA率	6.4%	2.2%	-4.2pt
営業利益	1,963	▲ 4,372	-
営業利益率	1.4%	-3.5%	-4.9pt
経常利益	1,400	▲ 5,067	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	456	▲ 2,125	-
為替レート	¥109/\$	¥108/\$	

\* 当セグメントは2019年1月に事業再編（商圏縮小）を実施しています。

## 2019/12期 Q3 (3カ月) の実績

(百万円)

	2019/12期 1-3月 (Q1) 実績	2019/12期 4-6月 (Q2) 実績	2019/12期 7-9月 (Q3) 実績	前四半期比 (2019/12期 4-6月比)
売上高	34,964	38,136	52,309	+37.2%
産業資材	11,672	11,882	11,565	▲2.7%
デバイス	15,072	18,394	33,257	+80.8%
メディカルテクノロジー	6,145	6,140	5,922	▲3.6%
情報コミュニケーション	1,977	1,624	1,462	▲10.0%
その他	95	96	105	+9.4%
EBITDA	▲ 170	▲ 910	3,837	黒字化
EBITDA率	-0.5%	-2.4%	7.3%	+9.7pt
営業利益	▲ 2,508	▲ 3,321	1,457	黒字化
営業利益率	-7.2%	-8.7%	2.8%	+11.5pt
経常利益	▲ 2,746	▲ 3,641	1,320	黒字化
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 3,258	▲ 4,311	5,444	黒字化
為替レート	¥109/\$	¥110/\$	¥106/\$	

## 産業資材

## 中国向け製品需要が減速、国内工場の稼働が低下

用途別売上高（四半期）

(百万円)  
25,000

- サステナブルパッケージ資材（蒸着紙）
- 加飾（その他分野）
- 加飾（モビリティ（自動車）分野）

20,000

15,000

10,000

5,000

0

11,775

11,563

11,180

12,606

11,672

11,882

11,565

Q1

Q2

Q3

Q4

Q1

Q2

Q3

2018/12期

2019/12期

# 産業資材の概況

## ヨーロッパ

- 自動車向けの製品需要は横ばい
- 蒸着紙（サステナブルパッケージ資材）でシェア拡大

## 日本

- 中国での需要減少を受け、国内工場の稼働が低下

## 北中米

- 自動車向けの需要は堅調
- 家電の需要が旺盛も、収益性の改善に遅れ（メキシコ）

## 中国・アジア

- 自動車向けの製品需要が低調
- スマートフォン向けの受注が低調
- マレーシア工場は品質問題を解消

2019

## 産業資材 EBITDA

(百万円)

8,000  
6,000  
4,000  
2,000  
0

期初予想  
(2月)

今回予想  
(11月)

## EBITDA減少の主な理由

### 需要減少による影響

- 中国向け自動車、スマートフォン

### メキシコの射出成形工場

- 歩留りは改善傾向、黒字化に目途

## 減少額

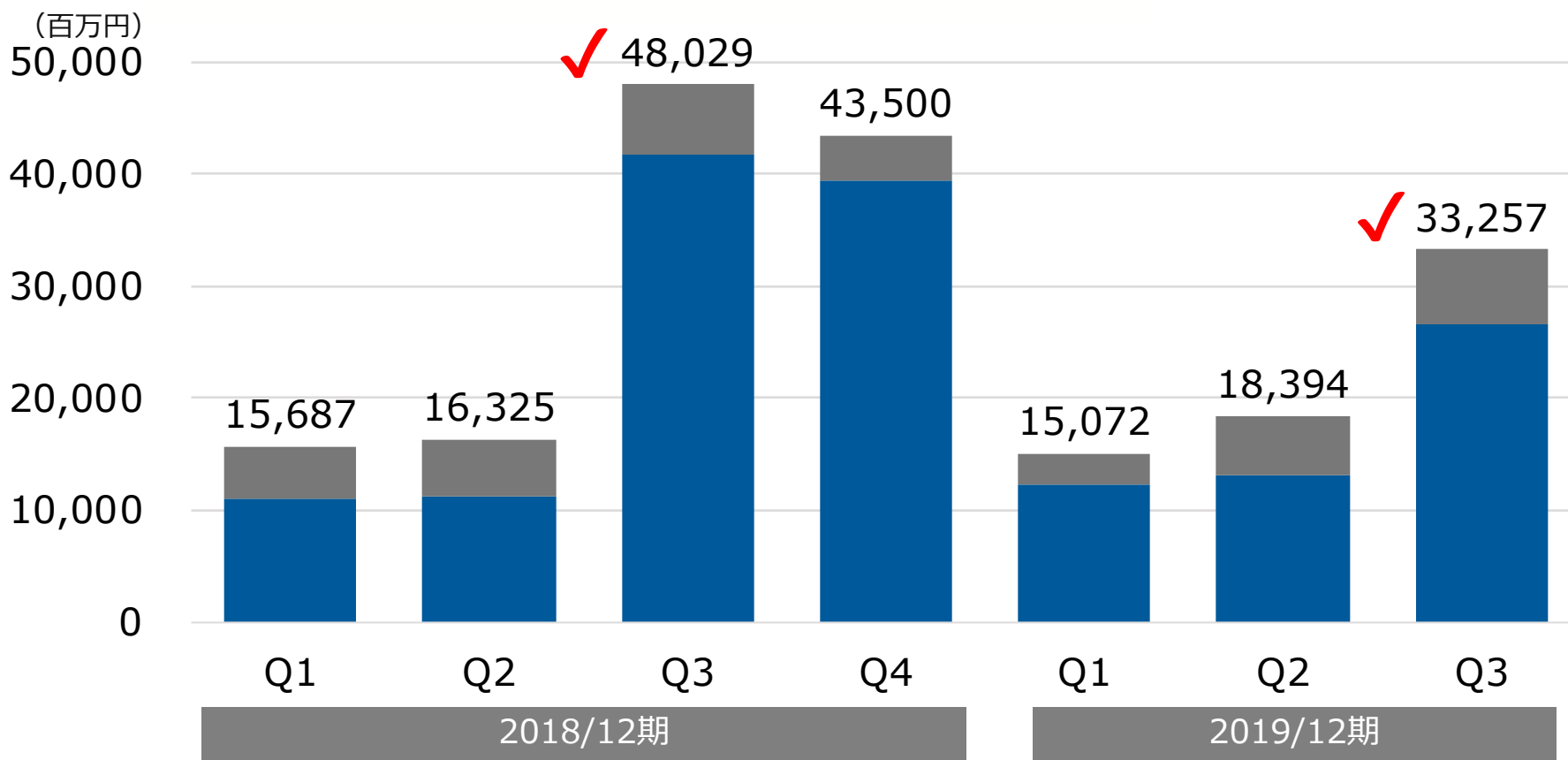
▲15億円

▲10億円

## Q3の製品需要は拡大も、スマートフォン向けの製品需要が想定を下回り、力強さに欠ける展開

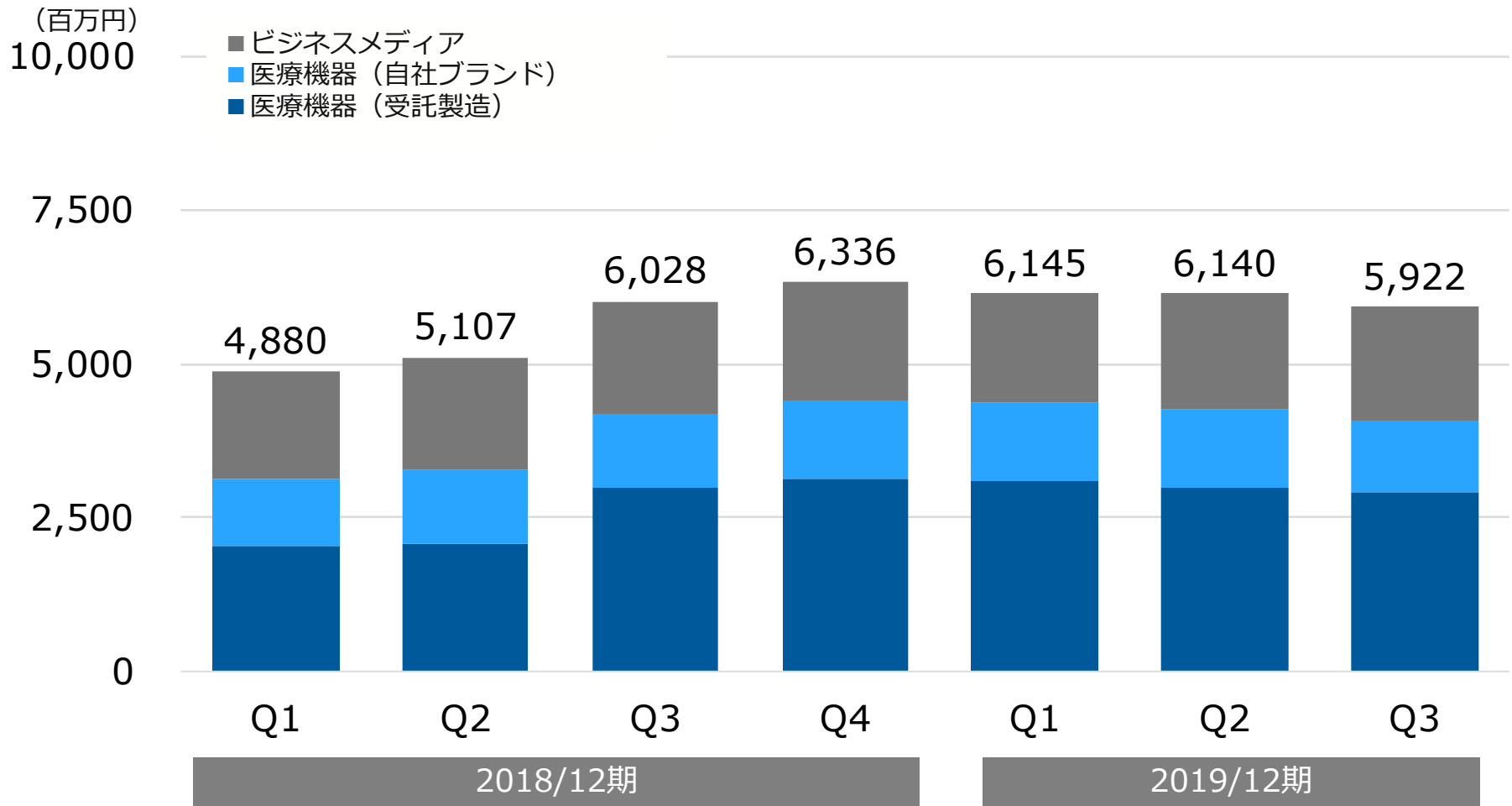
用途別売上高（四半期）

- ゲーム機・産業用機器・モビリティ（自動車）向け、ガスセンサーなど
- スマートフォン・タブレット向けなど



# メディカルテクノロジー 製品需要は概ね堅調

## 用途別売上高（四半期）

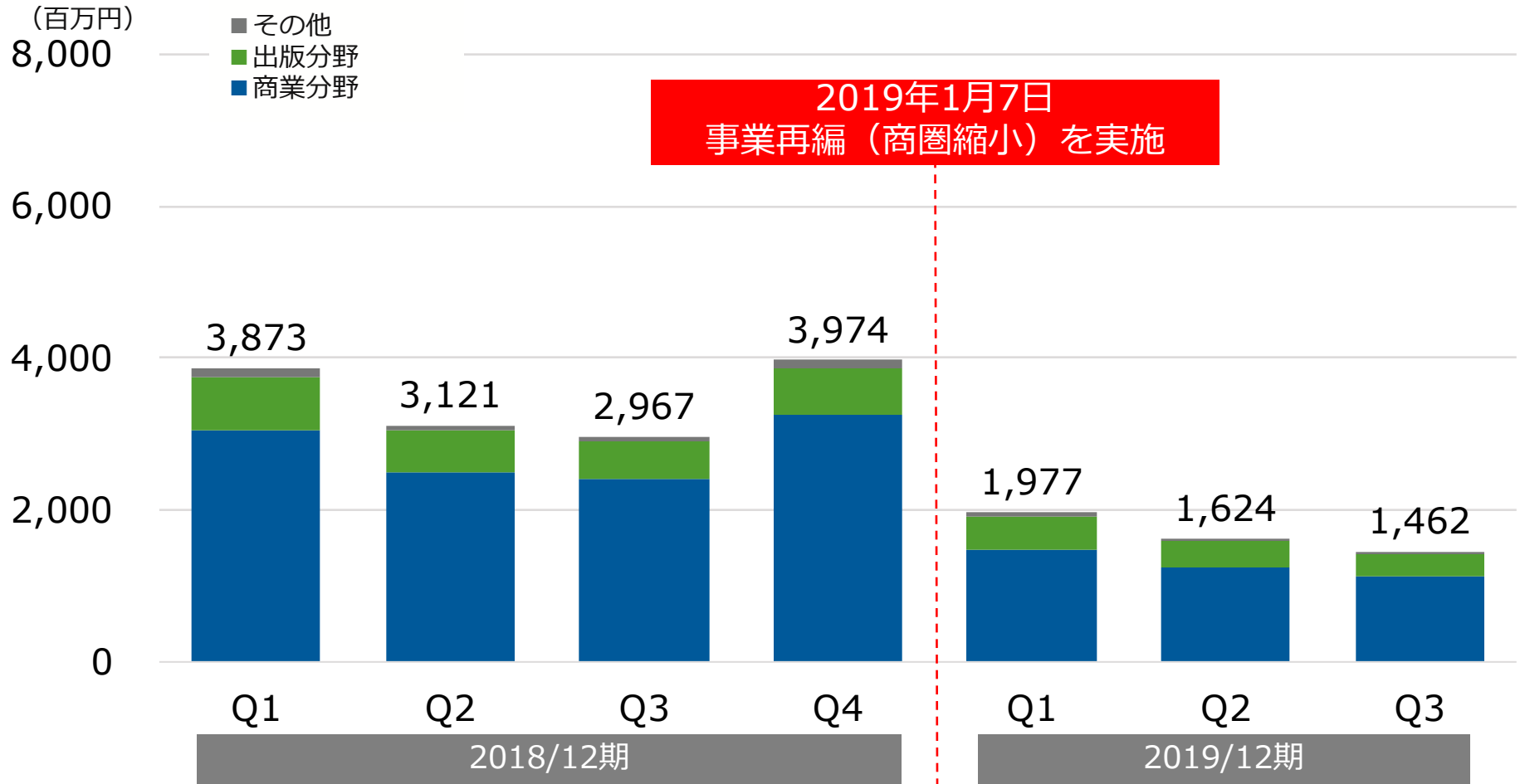




# 情報コミュニケーション

## Q3は季節要因により需要減少

### 用途別売上高（四半期）



# 業績予想の変更

EMPOWERING YOUR VISION

(百万円)

	前回予想 (8/6公表)			今回予想 (11/8公表)		
	2019/12期 通期 (1月-12月) 予想	2019/12期 H1 (1月-6月) 実績	2019/12期 H2 (7月-12月) 予想	2019/12期 通期 (1月-12月) 予想	2019/12期 H1 (1月-6月) 実績	2019/12期 H2 (7月-12月) 予想
売上高	180,000	73,100	106,900	173,000	73,100	99,900
産業資材	48,000	23,554	24,446	46,800	23,554	23,246
デバイス	99,500	33,466	66,034	94,500	33,466	61,034
メディカルテクノロジー	25,000	12,285	12,715	24,200	12,285	11,915
情報コミュニケーション	7,100	3,601	3,499	7,100	3,601	3,499
その他	400	191	209	400	191	209
EBITDA	11,800	▲ 1,080	12,880	6,000	▲ 1,080	7,080
EBITDA率	6.6%	-1.5%	12.0%	3.5%	-1.5%	7.1%
産業資材	2,600	954	1,646	1,800	954	846
デバイス	9,400	▲ 2,023	11,423	4,600	▲ 2,023	6,623
メディカルテクノロジー	2,400	1,263	1,137	2,300	1,263	1,037
情報コミュニケーション	200	▲ 65	265	100	▲ 65	165
その他	▲ 2,800	▲ 1,208	▲ 1,592	▲ 2,800	▲ 1,208	▲ 1,592
営業利益	1,500	▲ 5,829	7,329	▲ 3,800	▲ 5,829	2,029
営業利益率	0.8%	-8.0%	6.9%	-2.2%	-8.0%	2.0%
経常利益	500	▲ 6,387	6,887	▲ 5,000	▲ 6,387	1,387
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益	0	▲ 7,569	7,569	▲ 2,100	▲ 7,569	5,469
為替レート	¥107/\$	¥110/\$	¥105/\$	¥108/\$	¥110/\$	¥106/\$

# 第6次中期経営計画の進捗 (2018-2020)

# 中期ビジョン： バランス経営の完成 ITと非ITのバランスを実現する

## IT

- 収益性・効率性の維持・追求

IT



## 非IT

- 成長戦略（M&A）の実行

医療機器



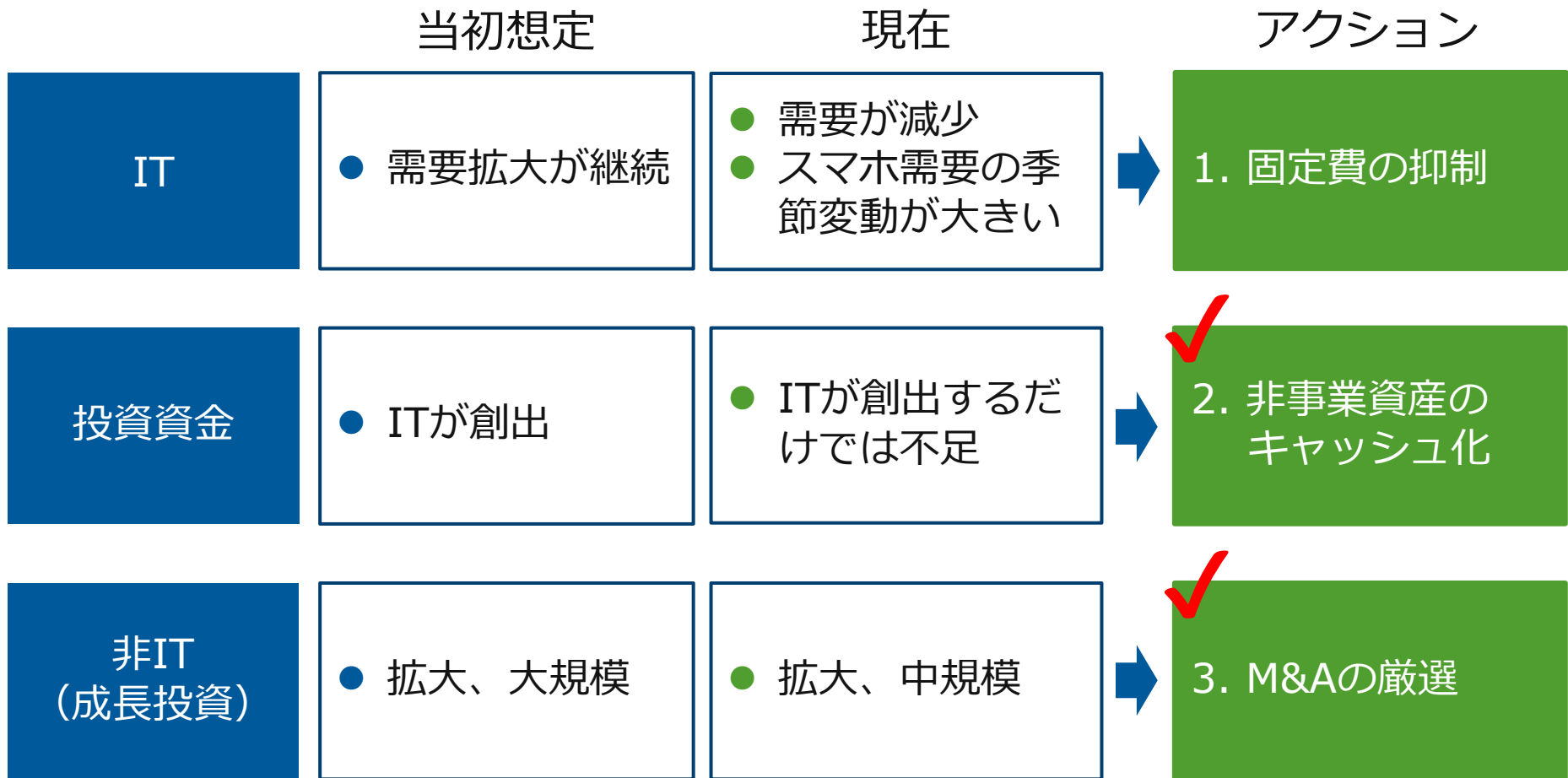
サステナブル  
パッケージ資材



モビリティ  
（自動車）



# 3つのアクションを実行



## 非ITの成長戦略（M&A）の投資資金の計画

- ITが創出する営業CFは減少
- 外部からの調達（負債）
- ✓ ● 非事業資産のキャッシュ化：2020年末までに100億円規模

1.遊休固定資産の売却	八千代工場の売却により約50億円 (2019年9月に実施)	完了
2.政策保有株式の売却	✓ 約50億円の売却を実施予定 (2019年-2020年)	



非ITの成長戦略（M&A）を実行

# ターゲット領域： 3件のM&Aを実施（Q4）

## 医療



### 医療機器



- 心疾患
- 急性医療
- 消耗品

製品ラインアップの拡充  
受託製造能力の拡張



### DDS（医薬品の新剤形）



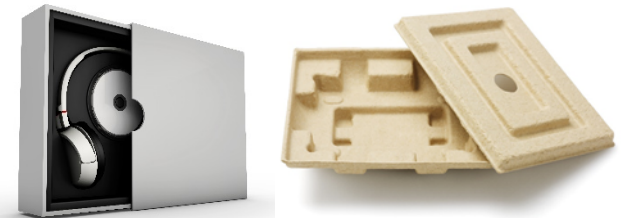
## サステナブル パッケージ資材



### 蒸着紙のシェア拡大



### 新たなサステナブルパッケージ資材



## モビリティ （自動車）



### 新たなトレンドが事業機会

#### CASEトレンド

- Connected=つながる
- Autonomous=自動運転
- Shared/Service=共有、サービス
- Electric=電動化

「モビリティ事業推進ユニット」設立  
産業資材（内装・外装加飾）とデバイス（機能部品）の強みを融合



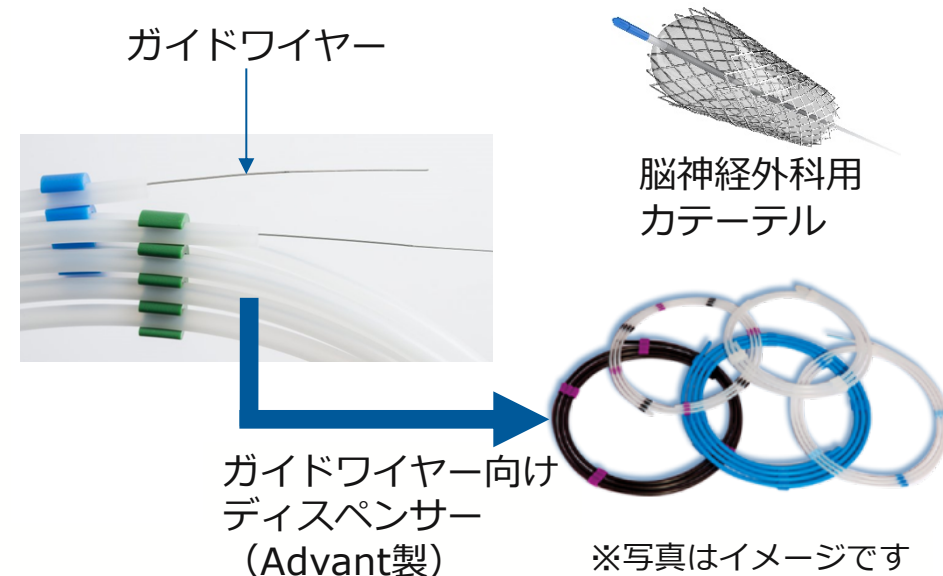
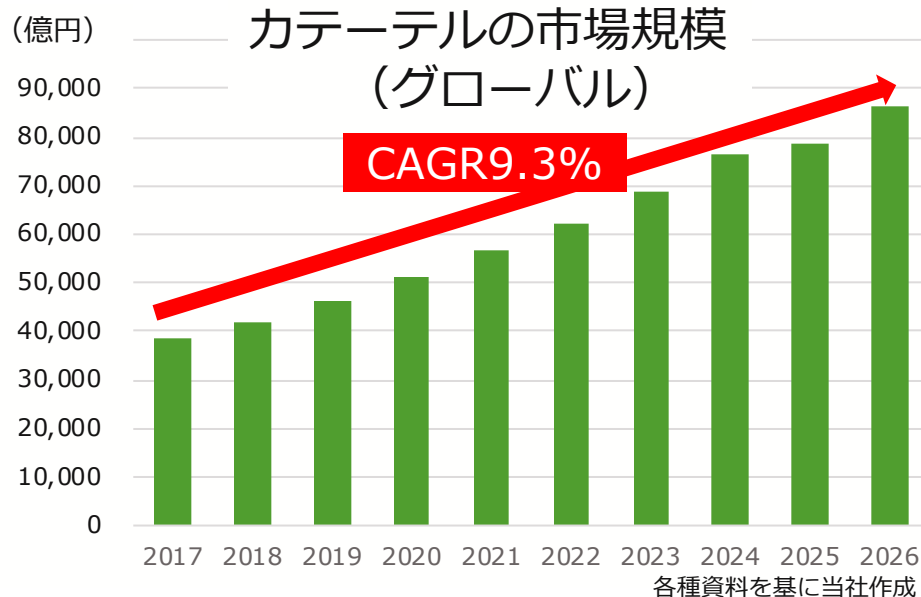
# 欧州で受託製造の拠点を獲得 Advant Medical (アイルランド) を買収

※1ユーロ=120円

- 心血管用カテーテルやガイドワイヤー向けディスペンサーの製造でグローバルトップ
- ディスペンサーの製造能力を獲得し、当社既存のガイドワイヤーとの垂直統合を実現
- 脳神経外科用カテーテルの製造能力を獲得
- アイルランドは欧州最大の医療クラスター
- 同地域で設計・開発能力を強化し、顧客接点を拡大

## Advant Medical Limited

売上高	2018年12月期：15.5百万€ (約1,860百万円)
拠点	アイルランド、コスタリカ
社員数	190人
事業内容	医療機器の設計開発、製造

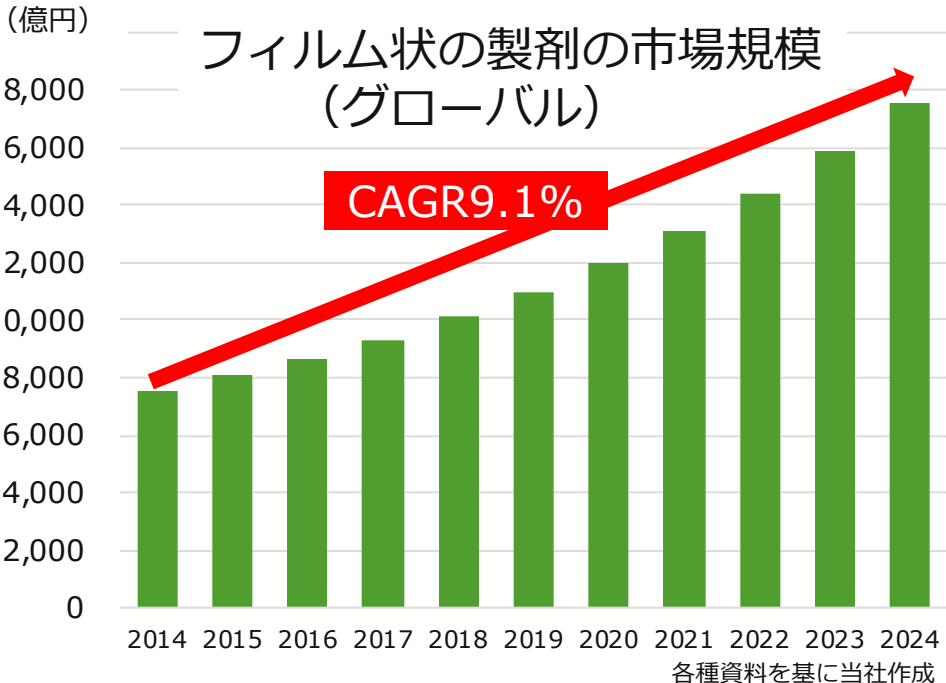




# 医薬品DDSに本格参入 ゾンネボード製薬（日本）を買収

- ゾンネボード製薬はロングセラー製品を保有（耳鳴緩和剤、むし歯予防剤など）
- 同社の買収により、当社の医薬品市場への参入に必要な業許可、製造工場、品質管理体制、販売チャネルなど事業基盤を獲得
- 当社コア技術から生み出されるフィルム状の製剤の開発を加速

ゾンネボード製薬株式会社	
売上高	2018年9月期：1,051百万円
拠点	日本（東京）
従業員数	80人
事業内容	自社開発ブランドの医療用医薬品・医薬部外品の製造および製造販売



- 当社の戦略（フィルム状の製剤）  
錠剤や注射剤からの剤形変更が市場機会

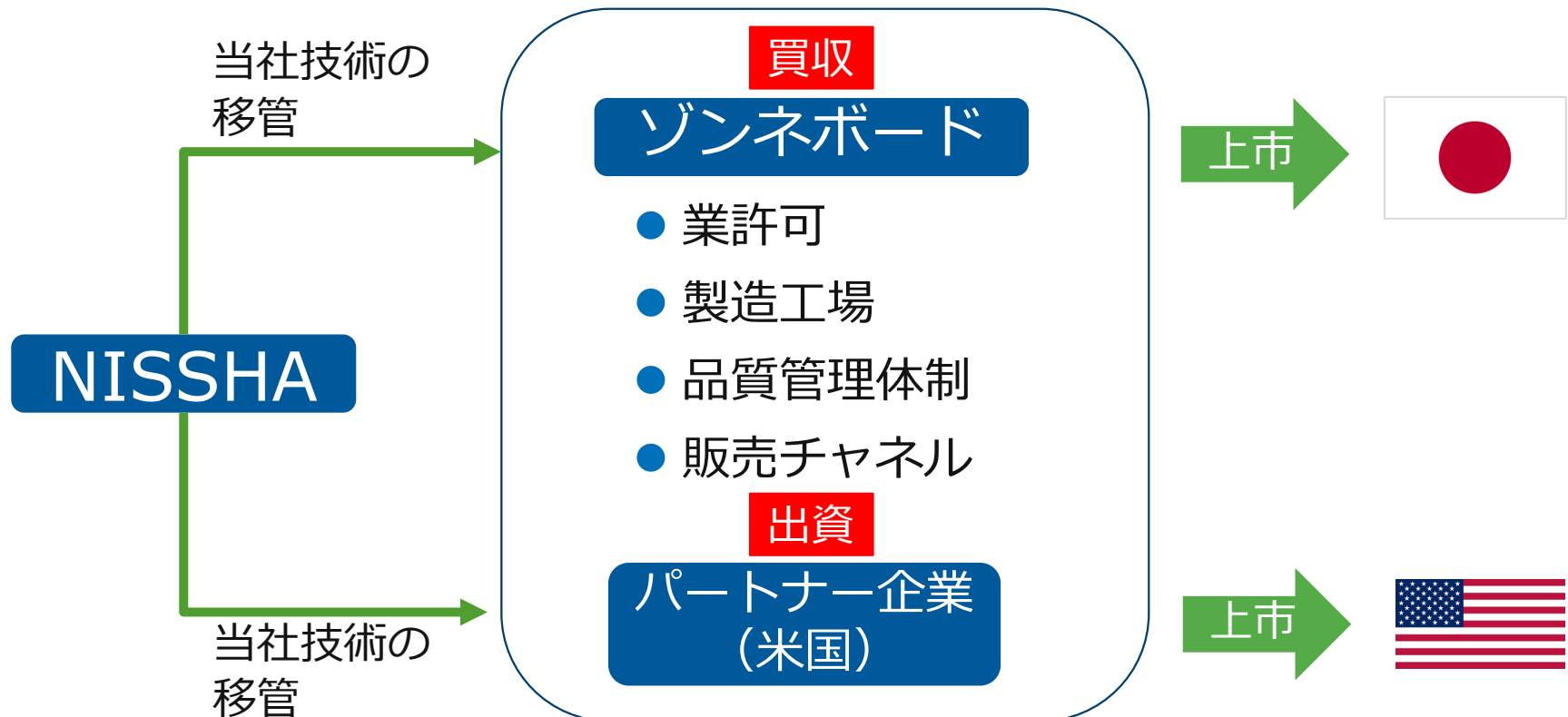


- 当社コア技術を製剤製造に活用



# 当社の技術とゾンネボードの製造および製造販売ノウハウによりフィルム状の製剤を事業化

- 当社技術をゾンネボードに移管し、国内で上市
- 米国西海岸のパートナー企業（2019年4月出資）との協業により海外事業を拡大



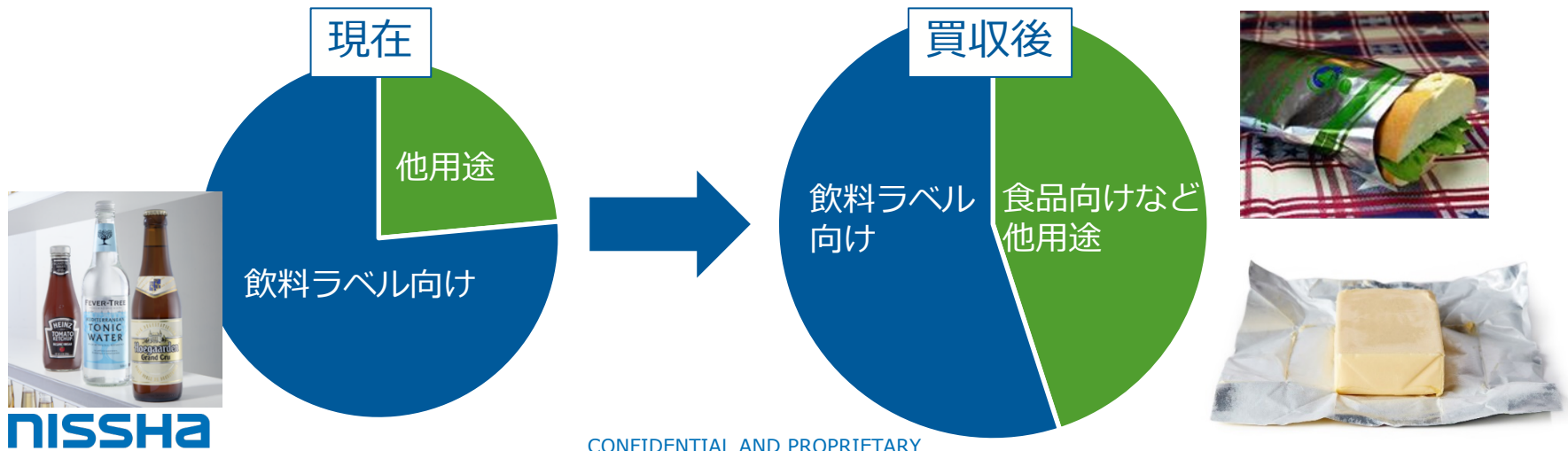
# 蒸着紙のシェア拡大により競争優位を確保 AR Metallizing（ベルギー）が蒸着紙メーカー Eurofoil Paper Coating（ドイツ）を買収

※1ユーロ=120円

- 蒸着紙のグローバルリーダーとしての地位を強固なものとし収益性向上
- Eurofoilの加工技術・生産能力を活用し新製品の開発を加速
- 2020年、蒸着紙の売上高は220億円を突破する見通し

Eurofoil Paper Coating GmbH	
売上高	2018年12月期: 54.7百万ユーロ (約6,564百万円)
拠点	ドイツ
社員数	170人
事業内容	食品パッケージ向けや加熱式たばこ向け蒸着紙の生産・販売

## サステナブルパッケージの需要が高まる食品向けを中心に新製品を拡大



# 遊休固定資産を活用、規律あるM&Aを実行

旧八千代工場（千葉県）



売却

売却益約50億円

3社のM&A

約55  
億円

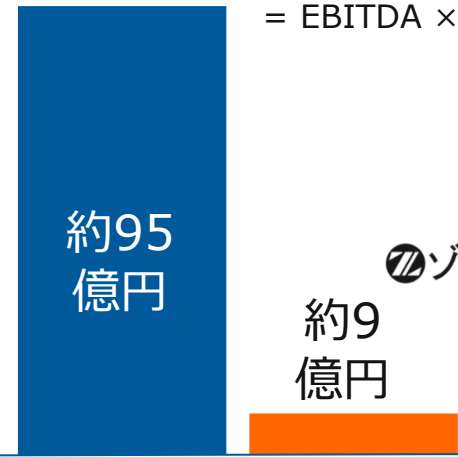
M&A投資額

## ● 遊休固定資産

0円	0円
売上高	EBITDA

## ● 投資額約55億円、ROIC\*は約11%

\*キャッシュベースのROIC  
= EBITDA × (1-税率30%) ÷ 投資額



ゾンネボード製薬株式会社



※調整後  
前年度実績

# ご参考：設備投資・減価償却費・M&A投資・ のれん償却費・研究開発費

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績	第3四半期 (7-9月) 実績
設備投資	1,602	2,187	2,524
減価償却費	1,943	2,003	1,983
M&A投資	-	-	-
のれん償却費	400	403	397
研究開発費	875	944	868

This document contains confidential information and all rights regarding the document belong to Nissha Group. Therefore, any disclosure and/or leakage of the document to any third parties other than recipients of the documents, and copy, transfer and/or citation of the document without the prior authorization of Nissha Group are strictly prohibited. In addition, any use of the document for the purpose other than original purpose for the disclosure of the document is also prohibited.

本資料には機密情報が掲載され、一切の権利はNISSHAグループに帰属しているため、NISSHAグループの事前の許可なく、本資料を受領者以外の第三者に開示、漏洩したり、複写、転送、引用することを固く禁止いたします。また、本資料の開示目的以外での使用は同様に禁止いたします。